

平成23年度 第3学年総合学習 「大学模擬授業」感想集

5月27日（金）に県内外の大学から7名の先生をお招きし、模擬授業をしていただきました。この行事を通して、生徒達は、大学の雰囲気を感じたり、学問の多様性に気づき、自分の進路についてより深く考えたばかりでなく、授業の内容や先生方の語りかけによって勇気づけられたり、改めて自分の生き方について考えさせられたようです。

「自然災害時の保健医療活動」

東北大学医学部保健学科 教授 平野かよ子先生



今回の模擬授業を聞いて、保健師という仕事の重要性を強く感じました。私は今まで看護師志望で、保健師という仕事について深く調べたりしたことがありませんでした。しかし、今回の授業を聞いて、子どもからお年寄り、心の病を持つ人などをトータルにケアする保健師という仕事にとっても興味を持ちました。必要があれば専門的な医療へのパイプ役になったり、病気を防ぐため予防を呼びかけたり、仕事の幅が広くやりがいのある仕事だと感じました。また、平野先生がおっしゃっていたように、看護師や保健師志望だからといって、文系の勉強をおろ

そかにしないようにと思いました。地域の特性に合わせようとする、社会科学の勉強も必要だと聞いて少し驚きましたが、非常に納得しました。一つの分野を極めようとする、それに関わる多くのことへの知識が必要になるのだと感じました。今回の模擬授業で、「医療」とは私が今まで考えていたものよりもっと内容が濃く幅広いものなのだを知ることができました。本当にありがとうございました。

『機械工学模擬体験「創造工学実習」』～ゼロから何かを作ったことがありますか

新潟大学工学部機械システム学科 准教授 田村武雄先生 助教 桜井篤先生 技術専門職員 弦巻 明先生

今まで工学部系は難しすぎて訳が分からなような学問だと思っていました。しかし、今回の大学模擬



授業を受けてみて、先生方が3人ともおもしろいし、内容を聞いていくうちに興味もわいて、今までの考えとは違う部分が見えました。そして、ソーラーパネルを使ったソーラーカーをどうしたらソーラーパネルが自由自在に動くようになるのかを考えて組み立てていく作業はとても難しかったです。どうしたら自分が考えている形に出来るかを考えて、それを実際に形にする難しさを感じました。その反面、自分の考えを形にするということの楽しさに気づくことができました。ソーラーカーが完成し

て、ちゃんと走った時、感動しました！今回の大学模擬授業で学んだことをいかして、これからの受験勉強に役に立てようと思います。わざわざ大学模擬授業をしに来てくださってありがとうございました。

「分子ナノテクノロジーへの招待」

東北大学工学部・機械知能航空工学科 教授 村田 智先生

今回の模擬授業をうけて、工学部のイメージが大きく変わりました。今までは工学は物理のイメージ



が強かったのですが、今回の講義の内容は、物理、化学、生物の内容が全て含まれていて、驚きました。私は工学部のバイオ系の学部を志望しているので、今回の「なる」機械のような柔軟性、拡張性、適応・進化能力などの生物のような機械にもバイオの技術が使われていると知り、ますます興味がわきました。以前テレビの番組で見て気になっていたドラッグデリバリーシステムも、今回の講義であらためて学び、人々のためになるすごい技術だと思いました。そして、自分で大学で学び、より良い技術を考え、薬

の効果を高め、人々の生活をより良いものになりたいと考えました。今回の講義は、自分の進路を固め大きなきっかけになり、あらためて自分の第一志望に向けてかんばろうと思いました。忙しい中、出張講義をしていただきありがとうございました。

「行政法入門と山形大学人文学部の紹介」

山形大学人文学部法系政策学科 講師 和泉田保一先生

今回の講演を聞いて、大学は自分が学びたいことを自由に学べるという印象を強く受けました。個人



でテーマを設定し、現地を訪問するなどは、大学ならではの学び方だと思いました。自分が満足するまで深く調べられるということを知り、大学で学びたいという気持ちが強くなりました。大学の授業のゼミでの、制限時間がなく、ゼミ生が報告という形で先生役を行うことで理解を深めるという授業方法を実際に見てみたいと思いました。法律の勉強は難しいというイメージを持っていたのですが、私たちの日常生活に密接にかかわっているのだと気付きました。また、日本国民が安全に平和に生活していくためには、法は必要不可欠だということが

分かりました。法学は裁判官と戦う格闘技であるということを知り、今までのイメージが変わりました。法学は歌と同様に、国民の幸せを願うものだという言葉が印象強かったです。法学は様々な種類があり、一つ一つが内容の濃いものだということが分かったので、今後の生活においても意識して法について考えていこうと思いました。すべての法律は私たち日本国民の幸せを考えて制定されているということが分かりました。法律を守ることは自分の幸福を守ることであるのだと考えさせられました。和泉田先生の講演を聞いて、大学生活のイメージが湧き、大学進学に対する気持ちが今まで以上に強くなりました。今回は、お忙しい中、本当にありがとうございました。

「英語教育におけるメタ認知研究」－英単語に関するメタ認知の実証的研究

宮城教育大学 教授 板垣信哉先生



今回の大学模擬授業は、将来教育系の職業に就きたい私にとって、大変興味深い、とても充実した時間でした。単語理解度についての簡単な実験から私自身も自分の英単語の理解度について再認知し、メタ認知という普段は全くなじみのない言葉を実感することができました。単語の学習一つをとってもメタ的語りがあるのではないのでは理解度が全く違うのだということが分かりました。また、学習の時だけでなく、スポーツにおいてもこの考え方は重要で、有名な野球選手もモニタリングとコントロールができていない選手とそうでない選手では実績にも大きな差が出ていることに驚きました。普段何となくやっている勉強を、このような違った視点から

見ることで、自分の今までの勉強への取り組みを見直し、これからの勉強の仕方を改善していくきっかけになったと思います。また、私は英語に苦手意識を持っており、自分には英語は向いていないと思っていたので、板垣先生の“失敗の理由を「努力」に求め、「適性」に求めない”というお言葉は今までの自分の認識を反省するとともに、英語の勉強をこれから頑張っていこうという意欲になりました。今まで以上に勉強をがんばり、いつか小さな子供たちに「努力の大切さ」を教えられるような先生になりたいと思いました。

「東日本大震災以後の日本経済のゆくえ」：経済学は何ができるか

福島大学経済経営学類 教授 吉高神 明先生

私は文系で、進路について“数学のできない私が経済学部なんて…”と聞いていましたが、吉高神先生が“数学はできなくても大丈夫。流行に敏感な人が向いている”とおっしゃっているのを聞いて、経済学に対してのイメージが180度変わりました。話も内容もとても分かりやすく、自分の持っている知識で未来が分かるというのは、どんなにわくわくすることなんだろうと思いました。「サブプライムローン」「GDP」「ワーキングプア」などテレビで耳にする機会



は多いけど、はっきり意味が分からないという言葉については今回の授業で、意味を理解することができました。特に「ワーキングプア」は今の日本において深刻な問題だと思いました。今回起きた東北大震災は、日本だけでなく世界の国々に様々な影響を与え、私たちの身の回りでも大きな変化がたくさんありました。それに対して経済学は大変役に立つものであり、自分の生活をちがう角度から見ていくことができるものだと思います。今回の講義で経済学への印象がガラリと変わりました。本当にありがとうございました。

の国々に様々な影響を与え、私たちの身の回りでも大きな変化がたくさんありました。それに対して経済学は大変役に立つものであり、自分の生活をちがう角度から見ていくことができるものだと思います。今回の講義で経済学への印象がガラリと変わりました。本当にありがとうございました。

「福祉と心」

岩手県立大学 社会福祉学部 教授 遠山宜哉先生



今日の講義で物の見方が少し変わったような気がします。特に、子どものケンカの仲裁に入るかどうかの実験は衝撃でした。自分に責任があるかどうかで行動が違うというのは、日々の生活からもよく感じていましたが、こんなに顕著に結果が表れると若干怖いです。こんなにも無意識のうちに思ってもみなかったことに影響されているとは思いませんでした。予言の自己成就の話もかなり驚きで、よく、絶対に成功させなきゃいけない時に成功する人と失敗する人がいますが、自分の予言によって左右されているのかなと思いました。ポ

ジティブな人こそ成功するのかなあとと思うと、表向きだけでなく、心の底からのポジティブ人間にならなくては！と思いました。たくさん話を聞いて、たくさん思い当たる節も発見もあり、これ自体が確証バイアスなのか！？と思ったりもしましたが、それによって裏付ける証拠だけでなく反例的なことを考えること、違った観点で物を見ることの大切さに気付きました。ひとは確証バイアスを持っていて、無意識のうちに色々なことに影響されるということに自覚して、これからの生活を送りたいと思います。